

愛知県養鶏協会便り8号

一般社団法人愛知県養鶏協会
(平成25年11月発刊)

440-0858 愛知県豊橋市つつが丘3丁目4-1
TEL 0532-61-3185 FAX 0532-61-3186

鳥インフルエンザ発生の危険シーズンです！

「掛け算効果」積み重ねでウイルス侵入防止を

(愛知県東部家畜保健衛生所保健衛生課指導G課長補佐 浅田尚登寄稿)

立冬を過ぎて本格的な冬を迎え、渡り鳥の飛来が増えて来ました。皆さんの農場の衛生管理は万全ですか？今一度、農場内外を点検しましょう！そして、野外作業に適した天気が続く内に家きん舎の修繕や防鳥ネットの補修、農場内外の整頓・清掃を進めましょう！

2011年の例にあるように、渡り鳥に鳥インフルエンザウイルスが見つかりと必ず国内の家きんに鳥インフルエンザが発生しています。

渡り鳥と舎内の鶏との間のリンクを作らない事が防疫の最重要課題と考えますので、リンクと考えられる人・器具・資材・常在の小型野鳥・ネズミ類への対策が大変重要になります。小型野鳥の代表格・スズメにH5亜型ウイルスを感染させた実験ではへい死する迄の4～7日の間、体内でウイルスが増殖し続ける事が明らかになりました。

屋外に餌が減少するこの時期は野鳥やネズミが舎内侵入の「スキ」を狙っています。作業の一つ一つが野鳥等からのウイルス侵入リスクを1/100にすると考え、掛け算効果でゼロに近づけましょう！

《掛け算効果促進作業》

1. 家きん舎への侵入防止:防鳥ネットや壁・軒の隙間塞ぎ
2. 家きん舎への接近防止:こぼれ餌の掃除や家きん舎周辺の整理
・整頓、石灰散布
3. 侵入・接近跡や糞の早期発見:家きん舎周辺の整理・整頓、石灰散布

手をつなごう！愛知のにわとり・うずら 新鮮・安全・安心・増やそう地産・地消！

協会の基本理念に基づいて愛知県産のたまごや鶏肉の「消費拡大支援事業」を展開してきました。

1. 9月7日～8日 全国県人会まつり開催（名古屋市久屋大通公園）



「モツ煮込み」の試食で販売促進を支援



知多養鶏組合・豊橋養鶏組合との協賛で
コーチン卵、レトルトカレー、モツ煮込み
を販売。「うずらたまご5くん」200個、
「名古屋コーチン卵」70パックを無償配布

2. 10月19日愛知県畜産フェスタ協賛（岡崎市畜産総合センター）



三栄鶏卵提供の卵販売
（先着200名に無償提供）



団体会員・六ツ美養鶏加工協同組合
個人会員・市川尚宏（市川飼料）方
の協力で参加

3. 10月20日(日)

たまニコ全国縦断チャリリレーゴール &たまニコ愛知大会開催



(たまニコ愛知大会・ご来賓7名と会長以下120名超の支援者の方々)

(中野滝宗実行委員長談)



今回の全国的なたまニコイベントのゴール責任者に任命された時は想像以上のプレッシャーを感じました。しかし、実行委員会メンバーを始め愛知県養鶏協会事務局のサポートのおかげで無事成功させる事が出来たと思います。感謝！感謝です。これからも、この経験を養鶏業界を盛り上げる為に継続出来たらと思います。



大雨の中イベント大成功！お疲れ様でした。成功のカギは関連企業各位の協賛とお手伝いでした。愛知県養鶏協会の全面的なバックアップのもと、生産者・関連企業方がここまで一丸になって取組めた事は大きな財産です。これからも共に歩み続ける為にイベントしましょう。いっぱい手伝って下さいね！

（高井正和実行副委員長：イベント統括責任者談）



御前崎から80kmの道程を少しのつもりがなぜか最後まで走る事になるとは・・・県境の潮見坂は地獄でした。

でも、完走後の達成感は言葉では言い尽くせません！たまニコ全体を通じ「一人ではできない事も仲間がいればできる」事を実感しました。

たまニコ愛知大会参加の皆様！本当に有り難うございました。

（富田真之実行副委員長：懇親会責任者談）

（上：開会宣言する高井氏）（下：富田静岡チャリダーメンバー）



たくさんの方に「タマリエ検定」を受けた頂きましたが、「1日、2個食べても良いの？」と言われる方が多かったです。

今後も消費拡大イベントを開催し「卵の正しい知識」を多くの方に学んで頂く必要を感じました。

（鈴木善之実行委員：タマリエ検定責任者談）

朝から生憎の空模様でお客様が来てくれるかなと不安に思いながら会場へ。多くの協賛企業の皆様のやる気満々の顔が飛び込んで来て、安心した！

「たまご重量当て」は不慣れな方には難しい様で、多くの方に正解賞が出るようにスタッフが一緒になっての参加が正解！



（タマリエ検定会場）

（高橋賢次実行委員：たまご重量当てクイズ責任者談）（重量当て参加風景）



ゆで卵早むき競争
参加風景



「ひよこふれあい
広場」で遊ぶ少女

